

科目ナンバー	ARS-3-015-k			科目名	フィールドワークの方法Ⅱ		
教員名	鈴木 鉄忠			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	本科目では、インタビューに関する社会科学的な方法を修得することを目的とします。具体的には、①「インタビューとは何か」「どのような特徴をもった調査研究なのか」から初めて、②「どのようにインタビューを行うのか」(調査計画書の立案、アポイントメント、調査、トランスクリプトの作成、分析、成果発表、成果報告書の作成)をアクティブラーニング形式で学びます。						
到達目標	到達目標は、以下の3つです。①インタビューに関する基礎知識と方法を説明できるようになること、②調査協力者から許可をもらい、約60分の対面型インタビューを実施し、録音した音声データを文字起こし(トランスクリプト)を行い、分析と考察をまとめた報告書を完成できるようになること。さらに、ゼミ論文や卒業論文の執筆のとき、さらには社会に出た後に、自分一人でインタビューの企画立案・実施・分析・報告までできるような総合的スキルの習得を目指します。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識		自己を理解する力	○	伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力	○	協働する力	○	構想し、実行する力	○
グローバル・マインド		主体性	○	関係を構築する力	○	実践的スキル	○
教授法及び課題のフィードバック方法	講義形式や「座学」でインタビューの方法を学ぶことほど、学習効果が薄く、退屈なものはありません。それゆえこの授業では、受講生の主体的な学習を求めます。そのために以下のような学内外でのアクティブラーニングを実施します。①資料や映像をめぐるグループ・ディスカッション、②受講生自らが選んだテーマと人物への対面型インタビューの実施(授業時間外学習)、③インタビューの実査をめぐるグループ・ディスカッション。授業中または次の授業に、教員からのコメントやフィードバックを行います。						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング			課題解決型学修		
受講条件 前提科目	国際コースは専門科目、それ以外のコースは自由科目です。「海外フィールドワーク」の受講予定や地域でのフィールドワークを予定している学生には、本科目の受講を強く勧めます。 なお履修生が40名を超える場合、以下の優先順位で選抜を行うことがあります。 国際コース2年および国際コース3年＞国際コース4年＞他コース2年以上						
アセスメントポリシー及び評価方法	評価方法は以下の得点配分で行い、最終評価は総合的に判断します。 参加の「質」: 複数の小課題の提出状況と内容、グループワークへの参加、インタビューの実施にいたるプロセス(調査計画書、大学への提出書類、調査対象者へのアポイントメントとフィードバックを含む) 50% 期末課題: インタビュー調査の文字起こし(トランスクリプト)を含む報告書の提出 50%						
教材	購入の必要な教材はありません。適宜、授業で資料を配布します。						
参考図書	谷富夫・芦田徹郎『よくわかる質的社会調査 技法編』(ミネルヴァ書房, 2009年) 谷富夫・山本努『よくわかる質的社会調査 プロセス編』(ミネルヴァ書房, 2010年) 桜井厚, 2002, 『インタビューの社会学』せりか書房 岸政彦ほか 2016『質的社会調査の方法』有斐閣						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	シラバス授業では、インタビューという調査方法の概要と特徴、授業の進め方について説明します						
授業外学修内容	これまでの調査経験や授業にむけた目標などをエントリーシートに記入します					時間数	2
2週目							
授業学修内容	インタビューとは何かについて、その他の社会科学的な調査方法(フィールドワーク、ドキュメント分析)と比較しながら、その特徴について学びます						
授業外学修内容	インタビュー調査に関する配布資料を事前に読んでくる					時間数	2
3週目							
授業学修内容	インタビューとは何かについて、様々な方法と分類(フォーマル・インタビュー／インフォーマル・インタビュー、構造化インタビュー／非構造化インタビュー)を学びます。						
授業外学修内							

容	授業トピックに関連する配布資料を事前に読んでくる	時間数	2
4週目			
授業学修内容	インタビュー調査の「ゴール」とは何か。過去に作成されたインタビュー調査の計画書と報告書から考えます。		
授業外学修内容	インタビュー調査を基に作成された報告書や文献の一部配布資料を事前に読んでくる	時間数	2
5週目			
授業学修内容	インタビュー調査計画書の立案をします。誰に、何を聞くのか、なぜそのことを聞くのか、いつ、どこで聞くのか、どのように聞くのか、映像資料とグループワークを通して検討します。		
授業外学修内容	インタビュー調査計画書の草案を作成して提出する	時間数	2
6週目			
授業学修内容	生活史調査とは何かについて、文献資料を用いたグループワークで検討します。		
授業外学修内容	指定の参考文献または配布資料を事前に読んでくる	時間数	2
7週目			
授業学修内容	調査計画書の検討と吟味を行います。インタビュー協力者への連絡とアポイントメントの打診を行います。		
授業外学修内容	インタビュー協力者に調査を依頼するための準備を行います。	時間数	2
8週目			
授業学修内容	インタビュー計画書を提出し、担当教員との面談で調査の許諾が得たら、実査に向けた準備にはいります。		
授業外学修内容	インタビュー協力者の選定からアポイントメントの取得、大学に提出する調査実施願の文書作成、インタビュー調査計画書を仕上げます	時間数	2
9週目			
授業学修内容	調査の実際と調査倫理について、テキストや実際の失敗例から検討します。各自グループで自身の調査の進捗を共有します		
授業外学修内容	指定の参考文献または配布資料を事前に読んでくる	時間数	2
10週目			
授業学修内容	インタビューの実査を行います。1名以上のインタビュー協力者に対して60分の対面型インタビューを実施します。会話は録音して口述データとして厳重に保存します。		
授業外学修内容	学内外でインタビューを実施します	時間数	2
11週目			
授業学修内容	トランスクリプト(文字起こし)を行います。トランスクリプトの意義と方法について、実査を踏まえて議論します。		
授業外学修内容	実施したインタビューの録音データからトランスクリプト(文字起こし)を作成する	時間数	5
12週目			
授業学修内容	トランスクリプトの仕上げを行います。文字起こしが終わり次第、分析に入ります。		
授業外学修内容	インタビューの録音データからトランスクリプト(文字起こし)を作成する	時間数	5
13週目			
授業学修内容	トランスクリプトの分析から報告書の作成作業を行います		
授業外学修内容	トランスクリプトの分析と報告書への総合を行う	時間数	4
14週目			
授業学修内容	報告書の進捗をグループで共有し、議論し、全体に発表します。		
授業外学修内容	インタビュー実査の分析と解釈、補遺にトランスクリプトを含めた報告書を作成します。	時間数	4
15週目			

授業学修内容	まとめとリフレクションを行います		
授業外学修内容	これまでの授業の総括を行います。KCGにリフレクションを記入します。	時間数	2
上記の授業外学修時間の合計		40	
その他に必要な自習時間		50	

Number	ARS-3-015-k	Subject	Fieldwork Methods II		
Name	鈴木 鉄忠 (Suzuki Tetsutada)	Year and semester	S Second semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>This course aims to acquire social science methods for interviews. we learn “What is an interview” and “What kind of characteristics are research studies” in lectures and group discussions. Then, all of participants practice how to conduct an interview (planning, appointment, interview, transcribing, analyzing, presenting results, and creating a report on research) in an active learning format.</p>				